



『東北圏だより』



公式ロゴ▶



仙台・東北から“BOSA”を世界へ発信

～「世界防災フォーラム/防災ダボス会議@仙台 2017」の開催～

仙台市

今年 11 月 25～27 日に、「世界防災フォーラム/防災ダボス会議@仙台 2017」が仙台国際センターで開催されます。平成 27 年 3 月の第3回国連防災世界会議では、成果文書として「仙台防災枠組 2015 - 2030」が採択され、「SENDAI」が世界の防災関係者の間に広く周知されました。この国際フォーラムは、実行委員会事務局を担う東北大学災害科学国際研究所と本市が中心となって実施するもので、防災・減災に関する仙台・東北の知見と教訓を継続的に発信し、国内外の専門家が具体的な改善・解決策を見出すことを通じて、仙台防災枠組の推進に貢献することを目指しています。



▲世界防災フォーラムポスター

このフォーラムは、東北大学がスイス・ダボスで隔年夏に開催される災害リスク会議に携わってきた縁で実現した経緯もあり、全体会合や分科会を柱に、専門家向けのブース展示やポスター展示が中心ですが、市民や NPO、企業など多様な防災の担い手が広く参加できることが仙台開催の特色です。どなたでも参加できる、フォーラム初日の前日祭や、「市民協働と防災」「復興支援での文化芸術の力」をテーマとした本市主催セッションなども予定しており、期間中、約 500 人の登録参加者のほか、国内から多数の来場者を想定しています。

▼3行事の概要

更に、今回は2つの行事が同時開催されます。内閣府等が主催する「第2回防災推進国民大会」、日刊工業新聞社による「防災産業展 in 仙台」、何れも、どなたでも入場自由です。

国際会議での専門家による議論、国民大会での家族連れも楽しめる様々なイベント、産業展での防災技術の発信と、位相の異なった3行事が集合することで、市民の方々から、行政関係者、そして企業にお勤めの方にとっても魅力ある密度の高いものになると確信しています。

<p>防災推進国民大会2017</p> <p>開催趣旨:「自助・共助」、「多様な主体の参画と連携」を促進するため、国民の防災意識の向上、災害に関する知識や経験の共有等を図る。</p> <p>主催:内閣府、防災推進協議会 防災推進国民会議</p> <p>協力:宮城県、仙台市、東北大学</p> <p>日程:11月26日(日)～27日(月)</p> <p>対象:国民全般(住民、企業、自治体、学生・生徒、教員、研究者、防災関係者等)</p> <p>入場料:無料</p>	<p>世界防災フォーラム/ 防災ダボス会議@仙台</p> <p>開催趣旨:内外の防災関係者が集い、震災の教訓・知見の発信や議論を行いながら連携を強化</p> <p>主催:世界防災フォーラム実行委員会(事務局:東北大)</p> <p>共催:東北大学、仙台市、GRF Davos</p> <p>日程:11月25日(土)～28日(火)</p> <p>対象:国内外の専門家ほか市民</p> <p>入場料:有料(一部、どなたでも聴講可能セッション有)</p>
<p>2017防災産業展 in 仙台</p> <p>開催趣旨:防災技術・製品に関する展示</p> <p>主催:日刊工業新聞社</p> <p>共催:内閣府、宮城県、仙台市、東北大学(予定)</p> <p>日程:11月26日(日)～27日(月)</p> <p>対象:企業、自治体関係者のほか市民</p> <p>入場料:無料</p>	

本市は、復興後を見据えた新たな都市像として「防災環境都市」を掲げ、市民のアイデンティティである杜の都の環境を守りつつ、震災の経験と教訓を踏まえた高い防災性を備えるまちづくりを進めています。仙台が有する防災・減災の学術的知見や地域の多様な主体による実践的な取り組みを当日感じ取っていただきたいと考えています。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

※公式ロゴについて

仙台防災枠組の4つの優先行動を象徴し、人々がともに考え創造する姿と世界に発信する外向けの方向性も表現している。

東日本大震災から7年目を迎え、復興・創生期間の2年目に入りました。復旧・復興にご尽力されております関係者の皆様に敬意を表します。また、復興庁の取り組みにご協力、ご支援頂き感謝申し上げます。今回は4月に完成した復興事業をご紹介します。

4月23日、東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた南三陸町伊里前地区に、2度目の仮設を経て本設を迎えた商店街、「南三陸ハマーレ歌津」がオープンしました。商店街は、津波で被災して海拔7mにかさ上げした伊里前地区の中心市街地に建設。同町で、3月3日本設オープンを迎えた「南三陸さんさん商店街」と同じく、建築家隈研吾さんの設計で地元の「南三陸杉」をふんだんに使い、ぬくもりあふれる空間が特徴です。「震災前と同じ場所で店を再開したい」という店主方の強い願いが実を結び、念願のオープンを迎えました。地元住民の生活利便性の向上と合わせ、「南三陸さんさん商店街」と並んだ観光拠点としての役割も大いに期待されるところです。



▲南三陸ハマーレ歌津オープン

4月8日、石巻市がさくら町に建設した渡波中学校の新校舎が完成し、落成式が行われました。校舎は鉄筋コンクリート4階(延面積8643㎡)、約2万㎡の敷地に立ち、限られた土地を有効活用するため、体育館を一体化すると共に、市では初めて屋上にプールを設置しています。プールは災害時洗浄水に活用できるなど、様々な工夫が見られます。6年越しの新渡波地区土地区画整理地区内に誕生した渡波中学校の新しい校舎に、これからの期待が膨らみます。



▲新校舎落成式



▲新校舎

編集後記

先日、計画のフォローアップ内容等について、意見照会させていただきました。構成機関の皆様におかれましては、お忙しいところご対応いただきありがとうございました。平成28年度のフォローアップに向けて、早急に調整作業を進めていきたいと思っておりますので、引き続きご協力の程よろしくお願いいたします。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：thr-kou-suishin2@mlit.go.jp ※メールアドレスが変わりましたので、ご注意ください。